



認知症介護イノベーション
コンソシアム
CHIBA

研究開発委員会 年度活動報告と次年度計画

千葉大学 兪文偉

委員会メンバー

委員長	兪 文偉 (千葉大学)
委員	日 上 忍 (アサヒ)
委員	萱 沼 伸行 (アサヒ)
委員	押之見 章彦 (ナカヨ)
委員	松戸 圭子 (アトリエPOSY)
委員	新保 隆義 (Comfort-zone)
委員	橋村さおり、伊澤 龍太 (リードエンジニアリング)
委員	雨宮 歩 (千葉大学)
委員	植野 彰規 (東京電機大学)
委員	杉本 博史 (キーリンクス)

目次

- 本員会の活動方針と年度活動計画
- 活動状況
 - ✓ 定例委員会
 - ✓ 既存研究の推進・予算獲得および研究企画
 - ✓ 社会連携
- 検討事項
- 次年度年度計画

研究開発の方向性： NPO法人の目的の実現に資する



認知症介護イノベーション
コンソシアム
CHIBA

この法人は、認知症の人に対する「自立尊重」「過不足なく、個々にあった看護と介護」を大原則に、認知症の人の家族や介護者の負担を軽減するとともに、認知症の人の気持ち(意思)を汲んだアシスティブテクノロジーのあり方を検討しながら、認知症の人の自律と自立に向けた千葉発イノベティブで新しい介護モデルを確立し、日本全国さらには世界に向けて社会実装を進めていくことを目的とする。

研究開発委員会の活動計画

活動目的	協力委員会	活動内容	方法	備考
技術の研究と提案	基礎調査委員会	研究開発、会員間の技術情報交流	会員定期技術情報交換会	毎月 (定例日程調整中)
		会員の研究現状の把握、パッケージ化	研究マップ構築	通年 (リビングラボ企画)
		技術シーズを総合する介護技術ショールーム構想の活動促進	構想実現するため活動促進、支援	通年 1-2件
競争的資金の獲得		企画、提案書作成の支援	個別、あるいは法人として	数件
介護現場での技術実証	基礎調査委員会	技術の開発と現場検証	国内外との協力	不定期
研究成果の発信と製品化支援	ビジネス、活動委員会	研究情報（基礎研究、応用技術、技術評価など）の発信	イベント参加情報交換会	科学フェスター 1回（3月或いは4月、法人内外シーズ紹介）
	運営委員会	知的財産の利用に関する会員間の調整		不定期

活動状況-1: 定例会

目的：法人内外、国内外研究開発関連の情報交換
研究協力可能性の探索、研究開発企画
新規会員の募集

内容：

- これまでの研究活動の説明・報告・議論
- 研究開発現状の紹介
 - ✓会員による技術紹介（新規加入会員も含む）
 - ✓加入意欲のある研究者、企業の技術紹介
- 国内外研究協力者による技術紹介・議論

定例会関連

- 定例委員会日程

(第3月曜15:30-)

- ✓ 第一回6/20日 (月)
- ✓ 第二回7/22日 (金)
- ✓ 第三回8/22日 (月)
- ✓ 第四回9/26日 (月)
- ✓ 第五回10/17日 (月)
- ✓ 第六回11/21日 (月)
- ✓ 第七回12/21日 (月)
- ✓ 第八回3/20日 (月)

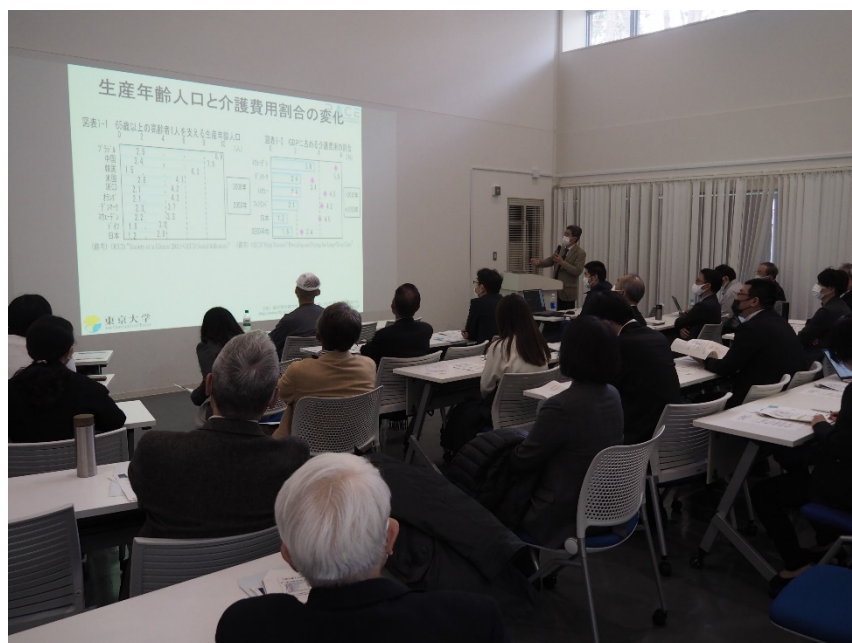
- 内容

- ✓ 技術紹介と検討

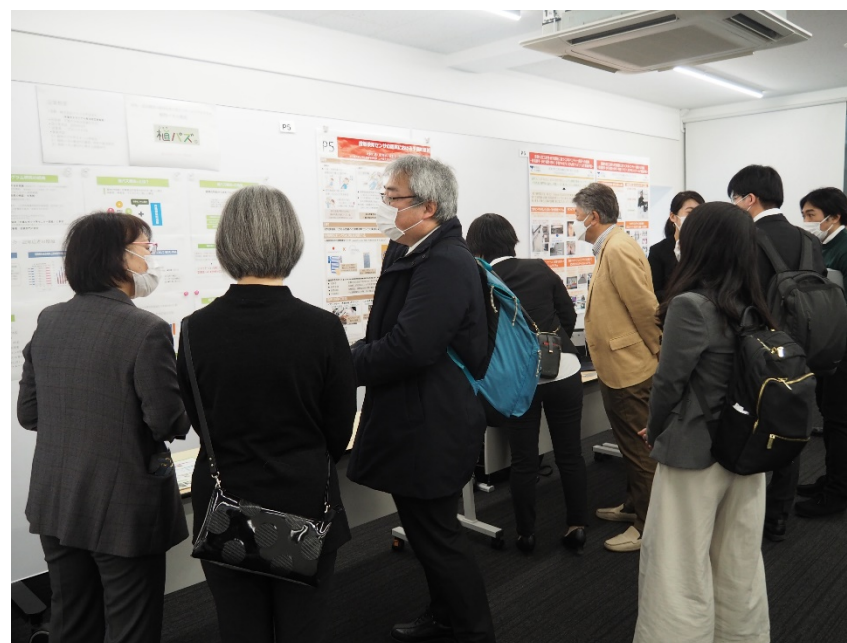
- 会員：兪（千葉大）、市田（iMedix）、雨宮（千葉大）、松沢（E-プラン）、萱沼（アサヒ）、押之見（ナカヨ）
- 会員以外：高橋（千葉大津村研）、松下（岐阜大、ビジネス交流会）、周（台湾雲林科技大、ビジネス交流会）、本田（東京大学、ビジネス交流会）

- ✓ 秘密保持についての検討（運営委員長 高橋先生のもと）

ビジネス交流会における研究交流の様子



基調講演



ポスターセッション

活動状況-2: 研究推進、企画

- 既存研究の推進
 - ✓ 排泄予測研究の多角的アプローチの推進（コンソ内外）
 - ✓ 認知症リハビリテーションの支援（コンソ会員）
 - ✓ 認知症早期発見にも応用できる地域医療用画像診断装置（コンソ内外）
- 予算獲得活動
 - ✓ 科学研究費の申請（地域医療用画像診断装置関連、審査中）
 - ✓ 学内研究費の申請（地域医療用画像診断装置関連、不採択）
 - ✓ 大学間共同教育・研究予算（排泄関連、採択）
- 研究企画
 - ✓ 認知症介護関係臺灣雲林科技大との協力企画
 - ✓ 2022年日臺認知症介護イノベーション交流会における講演、交流：12/27日
 - ✓ 臺灣衛生福利部（厚生労働省相当）、研究支援機関、複数研究組織の参加
 - ✓ 介護施設における高齢者リハビリテーションに関する企画（現在進行中）

活動状況-3：社会連携

- 行政との意見交換（千葉市産業振興財団、活動委員会との協力のもと）
 - ✓ 千葉市保健福祉局 高齢障害部・健康福祉部
- 千葉市介護ロボフェアにおける講演、交流
 - ✓ 11/21日 オークラ千葉ホテル
 - ✓ 講演題目「認知症の人の自律と自立を支援する技術のあり方」
 - ✓ 介護ロボットフェア出展企業（20社）との交流
- 科学フェスタにおける展示・研究説明（ビジネス委員会との連携のもと）
- ビジネス交流会の企画（千葉市産業振興財団、他委員会との共同）

検討事項

- 研究予算の獲得
- 既存プロジェクトの展開
- 新規プロジェクトの企画
 - ✓ 会員と企画
 - ✓ 新規会員の募集、共同企画
- 行政との連携
 - ✓ ショールーム・リビングラボ計画案の検討
- 研究・開発成果のPR活動、社会一般への説明
 - ✓ 当面ビジネス交流会、シーズ交流会、学術集会
 - ✓ 国内外関連研究者・研究グループとの連携

次年度研究開発委員会の活動計画

活動目的	協力委員会	活動内容	方法	備考
技術の研究と提案	基礎調査委員会	研究開発、会員間の技術情報交流	会員定期技術情報交換会	毎月 (定例日程再調整)
		会員の研究現状の把握、パッケージ化	研究マップ構築	通年 (リビングラボ企画)
		技術シーズを総合する介護技術ショールーム構想の活動促進	構想実現するため活動促進、支援	通年 1-2件
競争的資金の獲得		企画、提案書作成の支援	個別、あるいは法人として	数件
介護現場での技術実証	基礎調査委員会	技術の開発と現場検証	内外との協力	不定期
研究成果の発信と製品化支援	ビジネス、活動委員会	研究情報（基礎研究、応用技術、技術評価など）の発信	イベント参加情報交換会	科学フェスター 1回（3月或いは4月、法人内外シーズ紹介） ビジネス交流会
	運営委員会	知的財産の利用に関する会員間の調整		不定期